

「情熱」「行動力」「アイデア」の新しい風で、みなさんと一緒にまちづくり

# 清流だより

《新春特別号》

第17号

令和6年1月1日発行

## 【討議資料】

発行責任者：向井ひろあき後援会 木村左右和  
連絡先：南木曽町読書2740の2 電話 0264(57)2475

もっと  
南木曽を元気に！

日々の活動の様子は  
「向井ひろあきブログ」  
「町HP 町長の部屋」で  
発信中



## ごあいさつ

コロナ禍も局面が大きく変わり町も活気を取り戻しつつあります。関係の皆様もご活躍のことと存じます。向井町政も皆様の日頃からの温かいご支援ご協力により、町の発展に向けて進んでまいりました。町長は私達のリーダーですが、皆様の声に耳を傾け皆様に寄り添いながら町の課題に取り組んでいかねばなりません。

後援会としても皆様のご意見や叱咤激励を頂きながら、町をより発展させるために会の役割を果たしていかなくてはなりません。皆様の更なるご支援を宜しく御願い致します。

令和6年正月 後援会長 木村左右和



新型コロナウィルスは病気の流行に留まらず、社会・経済活動に深刻な影響をもたらしました。人の集まりが減り出生数が大きく落ち込んだほか、商売や事業の廃止につながるなど町にも大きな影を落としました。しかし、ステージ(状況)が変わった今こそアフターコロナ(コロナ後の取り組み)に向けて、前向きな気持ちを忘れずに活気をもたらす施策を進めていかねばなりません。

「住んで良かった」「暮らして良かった」「住むなら南木曽」と胸を張って言えるような町を目指すと共に、2期8年の経験と実績をさらに何かしらの形として残せるように取り組んでいきます。

南木曽の魅力を高めるための取り組みを、皆さんと一緒に進めていきます。今年も宜しくお願ひ致します。



## 「住んで良かった」と思える町をめざして

### ◎若い人や子育て支援・教育支援の継続強化

- ・町に住む若者や子育て世代の負担軽減が図れるよう各種支援制度の継続拡充。  
(例えば) 入園入学のお祝い制度の拡充・給食費の公的負担の増額・小学校に標準カバンを導入し希望者に支給 など
- ・子ども達の居場所づくりを応援。  
(例えば) 学校に通いづらい子ども達を受け入れる仕組みづくり、南木曽ならではの放課後子ども教室の支援継続など
- ・身近な自然や環境を活かした保育・教育を。  
(例えば) ふるさと教育・やま保育・木育の推進、親子ふれあい公園 など
- ・定住につながる住む環境、働く環境、通う環境の整備。  
(例えば) 町営単身住宅の整備、ミニ宅造(田立地区)の早期建設、空き家を活用したコワーキングスペースの整備、空き家の移住者利用推進策、リニア車両基地などの通勤圏拡大と開業効果を活かすためにも19号の雨量規制解除と右岸道路の延伸・整備促進 など

## 「暮らして良かった」と安心できる町となるために

### ◎地元医療・福祉機関との連携・確保を

- ・地元医師との連携を大切に町内の医院と歯科医院を守っていきます。
- ・坂下診療所、木曾あすなろ荘の維持充実と共に、町内関係団体との更なる連携を。  
(例えば) 坂下診療所で検討が進められている民間医療法人(入院機能の確保、訪問診療の実施などを計画)の開設に町としても協力を、木曾あすなろ荘支援に向けた具体的な取り組みを、社協など町内関係団体との連携支援による福祉機能の維持充実を、健診率向上(全国でも上位にある)による早期発見早期治療で健康長寿の町をなど
- ・砂防、治山、治水、防災など地域の国土強靭化。地域防災力の強化。  
(例えば) IT、ケーブルテレビを活用した防災情報提供を、消防団員の手当増額 など
- ・ICT、DXによる利便性の向上。  
(例えば) コンビニでの住民票交付、ペーパーレス会議の導入 など

## 「住むなら南木曽」といえる元気あふれる町に

### ◎人づくり、人材確保で豊かな未来を

- ・子ども達が将来戻って来て住みたいと思うように「ふるさと学習・体験」の機会を増やします。  
(例えば) 子ども達の意見やアイデアを具体的に町政に活かせる機会を作り郷土愛を養っていきます など
- ・公民館活動、ちゃれんじクラブ、健康マラソン、若者交流会議、蘇南高校支援、大学連携などで人材育成と交流推進。  
(例えば) 活動拠点である南木曽会館整備とその周辺の見直し計画を具体化促進、地域役職の軽減化見直し など

### ◎日本遺産、インバウンドのチャンスを活かした取り組みを

- ・木曽路を南北から通して歩けるルート作りでスローツーリズム・SDGsによる誘客 など
- ・地域経済と農林産業の活性化につながるよう後継者確保・事業承継や起業の支援、ふるさと納税や森林環境譲与税の活用 などなど



町づくりに対する思いやご意見をお寄せ下さい。  
皆さんと一緒に「もっともっと南木曽を元気に」できるよう頑張ります。